

## 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）ワクチンの接種を希望される方へ

～定期接種対象年齢以外の方（任意接種）用

釧路赤十字病院

日本では過去に麻しん・風しん・おたふくかぜの混合のワクチン接種を行っていましたが、おたふくかぜワクチンの副反応である髄膜炎の発生頻度が問題とされ、現在のところ子どもの定期接種には含まれていません。麻しん・風しん・おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎発症は0.08%程度、おたふくかぜワクチン単体接種後の無菌性髄膜炎発症は0.03%～0.06%とされ、決して低い率とは言えませんが、自然感染により発生する髄膜炎の発生率（1.24%）と比較すれば、ワクチンよりおたふくかぜを予防したほうが、髄膜炎に対するリスクは低いと考えられます。また、ワクチンを受けたくても受けることのできない妊婦さんや免疫不全患者等に感染を広げないという効果もあります。

ワクチン接種の履歴確認は母子手帳で行うと確実ですが、お手元にない方等のために当院では以下の内容を確認の上、ワクチン接種をするかご本人に決めていただいております。

※他のワクチンを同時に接種することは、医師が必要と認めた場合に限りですが、当院健診センターで実施する成人の予防接種では実施していません。

### 【ワクチン接種するかどうかの選択方法】

#### 1. 母子手帳を手元にお持ちの方

##### 1) おたふくかぜのワクチンを2回うけた記録がある

→ワクチン接種の必要はありません

なお、ワクチンを2回うけても免疫ができない方や低下してしまう方もいます。

ご心配な方は抗体の値を測定することもできます。

1種類の抗体を調べるには4,020円（税別）の自己負担が発生します。

##### 2) おたふくかぜのワクチンを1回うけた記録がある

→ワクチンを1回接種することをお勧めします

#### 2. 母子手帳を手元にお持ちでない方

##### 1) 抗体の値を測定し、値が低ければワクチンを接種する

1種類の抗体を調べるには4,020円（税別）の自己負担が発生します。

結果が出るまでには1週間程度時間がかかります。（予約電話可・結果郵送）

##### 2) 抗体の値を測定しないでワクチンを2回接種する

抗体の値を測定するには、自己負担が発生し、また結果が出るまで時間がかかります。渡航予定等にてお急ぎの方は抗体の値を測定しないでワクチンを接種することが可能です。日本ワクチン産業協会から出版されている予防接種に関するQ&Aには「抗体が陽性の成人にワクチンを接種しても特に問題がない」ことが明記されています。

抗体価を確認してワクチン接種することが推奨されていますが、必要性が高い場合はその限りではありません。しかし、少ないと言われているワクチンによる副反応は全くない訳ではありません。下記の内容を理解した上でご判断下さい。

※ワクチン接種は事前予約必要です。抗体価測定も事前予約をお勧めします。

電話 0154-22-7171（釧路赤十字病院 健診センター）

## 【ワクチン接種際の留意事項】

### 1. ワクチンをうけることができない人

- 1) 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性はおたふくかぜワクチンを受けることができません。おたふくかぜワクチン接種後は少なくとも 2 カ月の避妊が必要です。万が一、ワクチンを接種した後に妊娠がわかった場合は、かかりつけの産婦人科の先生にご相談ください。
- 2) ワクチンをうける 3 カ月以内にガンマグロブリン（血液製剤の一種で、重症の感染症の治療などに使われます）の注射あるいは輸血をうけたことがある人は、免疫が十分にできませんのでワクチンをうけることを延期する必要があります。また、大量のガンマグロブリンの注射をうけたことがある人は、6 カ月程度延期する必要があります。
- 3) 生ワクチン：麻しん風しん混合、麻しん、風しん、BCG、水ぼうそう、おたふくかぜ、黄熱ワクチンなど  
不活化ワクチン：ヒブ、小児用肺炎球菌、インフルエンザ、四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）、三種混合（百日咳、ジフテリア、破傷風）、二種混合（ジフテリア、破傷風）、不活化ポリオ、日本脳炎、A 型肝炎、B 型肝炎、狂犬病、成人用肺炎球菌ワクチンなど

### 【接種間隔】

生ワクチン→27 日以上←生ワクチン

生・不活化ワクチン→間隔の規定なし←不活化ワクチン

生・不活化ワクチン（インフルエンザ以外）→13 日以上おく←コロナワクチン

おたふくかぜワクチンに限ったものではありませんが、

- 4) 接種直前の体温が 37.5℃以上であった人
- 5) 重い急性の病気にかかっている人
- 6) おたふくかぜに含まれる成分（接種医におたずねください）でアナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことがある人
- 7) 接種医がうけない方が良いと判断した場合には、ワクチンをうけることができません。

### 2. ワクチンをうけるときに注意が必要な人（ワクチンをうけるには、かかりつけの先生と相談する必要があります）

- 1) 先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、発育発達の病気、悪性腫瘍など何らかの病気がある人
- 2) これまでの予防接種で 2 日以内に発熱がみられた人、またはアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた人
- 3) これまでにけいれんを起こしたことがある人
- 4) これまでに免疫機能に異常（感染症によくかかったり、感染症が重くなったりすることがあります）があると言われたことがある人
- 5) おたふくかぜワクチンに含まれる成分（接種医におたずねください）でアレルギーを起こすおそれのある人
- 6) 薬や食べ物でアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた人
- 7) 接種当日の体調が普段とちがう人
- 8) 家族や周りで最近 1 カ月以内に麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜにかかった人がいる場合
- 9) 最近 1 カ月以内に何か病気にかかったことがある人

### 3. おたふくかぜワクチンの効果

おたふくかぜワクチンを1回接種することによって90%以上の方が免疫を獲得しますが、WHOはおたふくかぜワクチンの予防効果は1回では十分ではないとして2回接種する事を推奨しています。

### 4. おたふくかぜワクチンの副反応

おたふくかぜワクチンに由来すると考えられる無菌性髄膜炎は、0.03~0.06%の頻度で発生するとの報告があります。また、稀に難聴・精巣炎の報告があります。発熱・耳下腺の腫れ・接種部位の発赤や腫れ等を認めることもあります。通常は軽度で数日で軽快します。

これはおたふくかぜワクチンに限ったことではなく、ワクチン全般に言われることですが、稀にうけた後30分以内にアナフィラキシーという重いアレルギー反応や、血管迷走神経反射による顔色不良、気分不良、血圧低下や失神を認める方がいますので、接種後は少なくとも30分間、ワクチンをうけた医療機関などで背もたれのある椅子に座って様子を観察しましょう。

### 5. その他注意すること

※予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。

※ワクチン接種当日は入浴可能ですが、接種部位を清潔に保ち、はげしい運動を控え、体調をよく観察しましょう。

もし、何か気になる症状がみられた場合は接種医に相談しましょう。

平成30年6月作成

令和6年1月改正